

凡例

一、引用資料の発行年の表記は西暦で統一した。

一、森岡常蔵、西田幾多郎、長谷川如是閑、高田保馬、吉沢義則、新村出らを編集顧問として第一書房から発行された『土田杏村全集』（全十五巻）の表記は《全集》とし、たとえば『土田杏村全集第一巻』であれば、《全集一》と記すこととする。各巻の発行年は以下の通り。

『土田杏村全集第一巻』、1935年。

『土田杏村全集第二巻』、1936年。

『土田杏村全集第三巻』、1935年。

『土田杏村全集第四巻』、1935年。

『土田杏村全集第五巻』、1935年。

『土田杏村全集第六巻』、1935年。

『土田杏村全集第七巻』、1936年。

『土田杏村全集第八巻』、1935年。

『土田杏村全集第九巻』、1935年。

『土田杏村全集第十巻』、1936年。

『土田杏村全集第十一巻』、1935年。

『土田杏村全集第十二巻』、1935年。

『土田杏村全集第十三巻』、1935年。

『土田杏村全集第十四巻』、1935年。

『土田杏村全集第十五巻』、1936年。

一、引用文・資料タイトルなどの漢字について、現行の活字体と異なるものは、

固有名詞を除き、基本的に、現行活字を使用している。

一、引用文中、私〔古市〕が補足した部分を示す場合は、〔カッコ〕を用いる。

一、論文資料が掲載された雑誌については、当該号の発行年月までの記載として、発行通し番号は省略する。これは、杏村の時代の出版・発行情報からか、明かに誤った番号が記載されていたり、同じ雑誌であっても季節ごとの特別号が記載されていたりいかなかったりする場合があるので、混乱を避けるためである。ただし、雑誌『第三帝国』や『文化』のように、隔週発行で一ヶ月に二冊が出版されていたり、発行が不定期の雑誌については、年月のみではかえって混乱するため、発行通し番号まで記すこととする。

一、註に関しては、第一・二章では章の最後につけ、その他の章では各節の最後につけることにする。これは各章・節の紙幅を考えた場合、そうした方が参照するにあたって便宜的と判断したためである。そのため資料は各章・節ごとに初出として表記する。なお、初出年が不明な場合は記載していない。